

北陸 インフラづくりの提言

北陸？長くな？
交通インフラを整えばOK 🙌
逆に韓国は結構近いじゃん？



冬は晴れの日が少ないんだよね
でも雪は推し。めっちゃ楽しめ
ちやうよ 🙌



歴史的街並み、山や海。
食べ物も豊富だし
ひっくるめてコーディネート
すればいいんじゃない？ 🙌



Niigata

Toyama

Ishikawa

30年後の北陸は、このような地域になっているべきではないでしょうか？

「ずっと居たい」「いつか 戻りたい」「また行きたい」
「関わり続けたい」と感じさせる場所。

それは

それは

それは

3つの県が一体となり「国際 中枢圏域」をつくることで
実現できると考えます。

大都市や海外へ行かなくても、働く先や働き方の選択肢がたくさんあるってことだね。

働く場所・暮らす場所・週末等の居場所を、個々の年代や趣味・趣向、ライフステージに応じて自由に選択できるってことだね。

ときには東京や大阪などの大都市圏へわずか2～3時間でいけるってことだね。

都心や市街地内での移動、あるいは都心と郊外・集落地、さらには北陸3県の各都市間での移動がしやすい環境が整っているってことだね。

都心や周辺都市・観光地に、国内外から様々な人たちが、ビジネスや観光で来訪したり、週末等に滞在したり、移住したりして、いつも活気や刺激が得られるってことだね。

地震や大雨・大雪にあっても、安心して生活できる、被災しても早く復旧・復興できるってことだね。

太平洋側と日本海側の両面から国づくりをするっていいことかな。

3県の各都市が一体となって、首都圏や中部・関西圏の役割をいつでもカバーできるようにするということかな。

災害時でも安心して移動できる環境が整っているということかな。

太平洋側で大きな地震が起きたりしたらすぐにサポートできるようにするということかな。



Look

日常生活の目で、30年後の暮らしとインフラの関わりを「都心」「近郊」「集落地等」の3つの地域ごとに描いてみました。

く」を実現していきたいと考えています～

C. 集落地等 Rural village
でのインフラづくり

市街地からちょっと離れていて、昔から農地や山地の中に集落がある地域。離島もそうだね。



小さな地域拠点の形成 (観光 / 防災 / 福祉 / 医療 / 物流)

各地の道の駅などを、日常や災害時でも便利
で人が集まる新たな拠点（小さな拠点）
にして地域の課題解決や地場産業の
活性化を図るんだね。

洋上風力エネルギー等の活用

雪冷熱や日本海の洋上風力など、北陸ならではの再生可能エネルギーを使って、データセンターの誘致など新たな産業を興して地域の活力を高めようということだね。

山間部等からの移住促進

山間部など土砂災害等による被害を受けやすい地域について、空き家を活用した住み替えや、空地での集団移転を促進するということだね。

地域観光拠点の 磨き上げ

山や河川・海などの北陸の豊かな自然の恵みや歴史文化的価値を観光資源として磨き、「いしかわ世界遺産」めぐりのように周遊化させて地域を活性化しようということだね。

雪国らしい街並み
景観 / 暮らし再生

五箇山・佐渡島・能登など北陸
の特徴である雪国の文化や資源
を磨き魅力を高める
ことで、観光客や移
住者を増やそうとい
うことだね。



災害とインフラづくり

能登半島地震をはじめ、ほくりく3県では毎年様々な災害が繰り返し発生しています。こうした災害への対応・対策は、重要なインフラメニューです。災害とインフラづくりとの関わりを、地震・水害・雪害の災害ごとに描いてみました。



(R6.1 令和6年能登半島地震〔石川県〕)



(R4 12 集中降雪・車両滞留 [新潟県])



(R4.8 大雨の被災状況 [新潟県])

耐震強化 / 液状化対策

能登半島地震でも大きな被害があった道路やトンネル等での地震対策だけでなく、市街地等での液化化や防火・延焼の対策を進めるといえることかな。

斜面对策
(土砂災害・道路閉塞・河道閉塞)

北陸では、傾斜が急な山地も多く、土砂災害や雪崩の危険な場所が多いよね。被害を最小限に抑えるための砂防ダムや擁壁などの整備や、危険エリアを避けた道路の整備、集落の移転などを進めるということかな。

**防災拠点
情報発信**

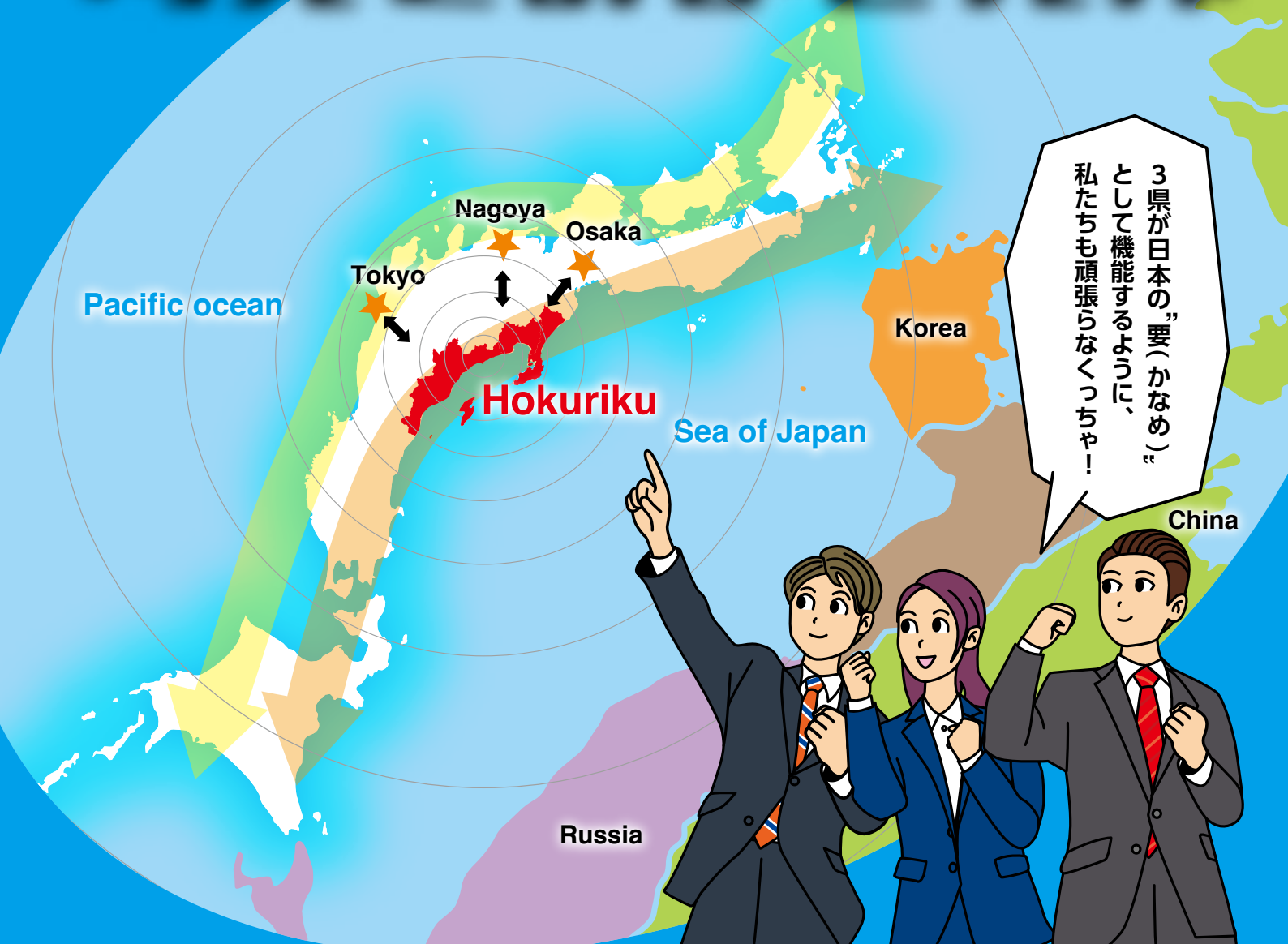
北陸は世界有数の積雪寒冷地。DXによる**タイムリーな路面情報の収集と配信、事前通行止めと集中的な除雪**などにより、車両の立ち往生や大規模な事故を未然に防ぐんだね。除雪車も自動運転が進むのかな。

津波浸水等対策 /防潮堤整備

北陸は海岸線が長くて、地震時の津波だけでなく、冬の荒波による被害も受けやすいよね。津波防止の防潮堤や港の強化、あるいは道路を高架にすることで緊急時での避難や救援ルートづくりなども進めるんだね。



ほくいくの将来を 考えてみませんか



北陸のインフラづくりの提言



インフラづくり
提言 (PR動画)



(一社)建設コンサルタント協会北陸支部は、『北陸インフラづくりの提言』を作成しました。この提言は、北陸の地域づくりに貢献する技術者集団として、おおむね『30年先』の将来を見据え、地域課題の改善・解決に向けた構想(考え方と具体策)を提案するものです。未来を担う若い皆さんとともに、その実現を目指していきます。



インフラづくり
提言 (本編)



インフラ
づくりとは ?

道路や公園、河川、港湾、空港、さらに防災施設など、地域の経済や暮らしを支え・守る様々な施設を整備もしくは維持するための調査・計画のほか、社会を動かすための仕組み・ツールづくりなども含めたものを“インフラづくり”と称しています。



一般社団法人 建設コンサルタント協会 北陸支部〈新潟・富山・石川〉

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1 興和ビル7階 TEL 025-282-3370 / FAX 025-282-3371

E-mail : kenkon@abeam.ocn.ne.jp